

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 8年 3月 6日

公表: 令和 8年 3月28日

事業所名 くりの木

		チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	0	体を動かす際はこのスペース、落ち着きたい時はこのスペースなど、状況によって使い分けしている。机などの配置を変えて、工夫している。利用人数が多いとロッカーへの荷物収納が課題。活動内容で、部屋を分けている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	1	場合によって大人数での遊びに誘うなどして、スタッフ1人が見るこどもの人数を調節する。利用者様がまとまって集団で遊べるようにすることで、目が行き届くように工夫している。活動内容で分けている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	2	静養ルームとして、全く何も物などが置かれていない空間があると良い。テイルームの物を減らし、より視覚的にわかりやすく環境を整えていきたい。小型のホワイトボードを使い、各項目ごとに記載し分けて伝えている。伝わりやすい内容記載に努めている。考え中	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	0	朝早くに来たスタッフが、ペーパーの補充等確認を行う。活動によって、部屋を使い分けており、作業室を何も無い状態にしておく事で、室内運動やパニック時の対応が可能のように工夫している。定期的に点検をしている。活動内容で机を動かす	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	0	相談室を落ち着くための部屋として使用している。しかし、スタッフの目が届きにくい場所にあるのが難点である。認められている。また、言葉で伝えることができるような支援をおこなっている。特性や体調に応じて使用している。体調不良など別室で過ごしてもらう	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	0	To doリストを活用している。日々の打ち合わせの中で毎回利用者様に対しての課題や到達点を話し、対応を共有している。今後は個人に対して話をする時間を増やしていきたい。日々、振り返りや反省を行っている。打ち合わせをする	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	0	どんなことをしているのか、わからないといった意見があるのを見て、連絡帳だけでなく、メモに書いて様子をお伝えするなど、工夫している。打ち合わせをしている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	0	意見に耳を傾けるようにしているつもりだが、もっと話しやすく頼りやすい管理者になれるように、コミュニケーションを取っていく。日々の打ち合わせで意見を出し、それについて話し合う場が設けられている。打ち合わせをしている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	0	4	わからない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	0	研修は毎月行っている。その後の打ち合わせで、研修で学んだことを用いて支援内容を考えるように工夫している。全体で集まるのが難しい時には、各事業所でのリモート形式にするなど受講の機会を作っている。定期的に研修がある	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	0	3	わからない	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	1	日頃から、保護者の方の意見や気持ちに寄り添い、計画書を作成するため、懇談や送迎で話す機会を設けている。今後は保護者での集まりや、見学会などを行い、より保護者の方とコミュニケーションが取れるようにしていきたい。打ち合わせで話す	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 8年 3月 6日

公表: 令和 8年 3月28日

事業所名 くりの木

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	0	毎日の打ち合わせ、反省だけでなく、月に1度ケース会議を行い、利用者様の状況や、今後の支援方針について話をしている。職員の意見を聞きながら行っている。ケース会議でスタッフの意見をまとめている。または、目標を伝えられている。打ち合わせで話す	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	0	打ち合わせやケース会議で伝えるように気をつけている。日々の打ち合わせや意見交換が活かされている。事前に打ち合わせ出来ている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0	3	アセスメントの様式だけでなく、生活スキルの活用なども行なっている。課題の発見と周知、実行、振り返りを行っている。わかりません	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	1	0	4	利用者だけではなく、そのご家族全体を支援していけるよう、保護者の方からのお話に対して対応できるように工夫している。わかりません	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	0	職員で考え、活動内容の目的や工程についても、利用者様の支援につながるか確認しながら立案している。季節や行事も盛り込みながら、参加を促す内容作りに努めている。打ち合わせで話す	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	0	ChatGPT等を活用し、新たなアイデアを取り入れた活動を実施するようにしている。全利用者が、すべての活動が経験できるように、ローテーションで活動を組み込んでいる。曜日や担当スタッフが固定しないように努めている。担当者が日替わりで1カ月ごと決めてある	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	1	個別で行う活動と、集団で行う活動の両方行うように工夫している。さらにニーズに合わせた支援ができるように、デイの流れを改善していく。活動内容にも反映している。1カ月ごと決めてある	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	0	出勤時間の都合等で打合せに参加出来ない職員に対しては、出勤後に必ず口頭で説明するようにしている。打ち合わせは必ずしている。役割分担もしっかり決めており、どういった支援をして欲しいのか、活動の目的に沿った対応を取ってもらえるように丁寧に説明している。参加できなかったスタッフには、必要事項を伝達している。打ち合わせで話す	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	0	支援終了後は難しいので、次の日に振り返りを行っている。その日に伝えるべき内容はラインワークスを活用している。支援終了後、の打ち合わせはできないが、出来る範囲での振り返りを行い、次の日の打ち合わせで発表している。遅くとも次の日には話し合いしてる	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	0	業務記録を毎回作成しており、支援の検証や改善に繋げている。その日のうちに振り返り、文字に起こすことで振り返りを行っている。打ち合わせ	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 8年 3月 6日

公表: 令和 8年 3月28日

事業所名 くりの木

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	2	保護者の方に利用者様の様子や、要望、願いを聞く機会を定期的に設けている。スタッフが揃う日にちで行えるように組んでいる。わかりません	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	0	1	戸外活動で公園へ出かけることで、地域交流を図れることがある。わかりません	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	0	自己選択の難しいこどもに対しては、選択肢を与えるなどスモールステップで達成できるようにしている。基本的に自分で選択し、言葉で伝え、行動してもらえよう支援を行っている。作業内容を選択制にする、意見を取り入れた内容にする、などの工夫をしている。活動担当者が決めている	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	2	基本的には児発管が参加しており、子どもの状況や、保護者の方の願いについて理解している者が参加するようにしている。打ち合わせで話す	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0	3	必要に応じてお医者様に意見書を提出するなどしている。学校への迎えでは担任の先生に学校の様子を伺うようにしている。わかりません	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	0	送迎時、先生に利用者様の様子を聞いたり、行事予定について確認している。確認している	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	0	5	卒業してしまった学校と連携を取ることは難しい。同じデイサービスだと引き継ぎ資料をいれたり、電話で話を伺うことはしている。わかりません	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	0	3	引継ぎ資料の作成や、実習時から電話やサ担当で情報を提供できるように工夫している。わかりません	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	0	5	児童発達支援センターに関わる事が少ない。研修の中で質問をしてアドバイスを受けることはある。わかりません	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	2	活動で関わる事はしないが、公園で遊んでいる時に、地域の子どもと一緒に遊ぶ事はある。公園遊びでその機会がある時がある。わかりません	
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	1	3	研修など、積極的に参加している。わかりません	
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	0	送迎時、メモや連絡帳を用いて情報共有等のやり取りを行なっている。連絡帳やラインを通しての情報共有はもちろん、送迎時や、何かあった時には必ずメモを書き保護者に伝えるようにしている。電話やメモなど、家庭に応じた対応を行っている。家族と情報共有している	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	0	5	ペアレントトレーニングは行っていない。わかりません	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 8年 3月 6日

公表: 令和 8年 3月28日

事業所名 くりの木

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0	3	資料を必ず準備して、説明を行っている。説明したところは線を引く、質問タイムを設けるなど工夫している。わかりません	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 8年 3月 6日

公表: 令和 8年 3月28日

事業所名 くりの木

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	2	計画書作成の際、保護者の方に説明をして署名をいただいている。わかりません	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0	2	得ている。わかりません	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	0	3	保護者から要望があれば、時間を作って対応している。スタッフ間で情報共有することで、どのスタッフも対応できるように努めている。わかりません	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	2	2	くりの木カフェを行い、保護者の方に来てもらう事で交流できるようにしている。頻度は増やしていきたい。わかりません	
	41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	1	素早く状況確認し対応するようにしている。落ち着いて対応できるように改善していく。利用事業所内だけでなく、全体での把握に努めている。わかりません	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	1	ブログやインスタはもちろん大体月に1度はくりの木通信を作成し、情報を発信している。わかりません	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	1	外では利用者についての話はしない、HP等に写真を掲載する場合は個人が特定されないよう加工を行う。地図や住所等の資料は目に入らない場所に保管している。また、職員間で個人情報の取り扱いについて打ち合わせ等で再確認する機会を設けている。周知するべき所とそうではない所をしっかりと判断するようにしている。保護者の意向に沿った対応を行っている。書類等の取り扱いには、個々のスタッフの意識が大事だと思う。わかりません	
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	0	ブログやインスタはもちろん大体月に1度はくりの木通信を作成し、情報を発信している	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	2	3	外では利用者についての話はしない、HP等に写真を掲載する場合は個人が特定されないよう加工を行う。地図や住所等の資料は目に入らない場所に保管している。また、職員間で個人情報の取り扱いについて打ち合わせ等で再確認する機会を設けている。周知するべき所とそうではない所をしっかりと判断するようにしている。保護者の意向に沿った対応を行っている。書類等の取り扱いには、個々のスタッフの意識が大事だと思う。わかりません	
46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	2	母語が外国語の保護者に対しては、連絡帳の記載はローマ字を使用するなどしている。その子や保護者の方に合わせて、伝わりやすい言い方を心がけている。話の傾聴に努めている。問題点は共有している		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 8年 3月 6日

公表: 令和 8年 3月28日

事業所名 くりの木

	チェック項目	はい	いいえ	どちらでもない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	0	以前は行っていたが、コロナが流行してから行われなくなった。わかりません	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	0	毎月避難訓練を行っている。地震や大雨だけではなく、不審対応なども行っている。避難訓練や救急対応の訓練は行っている。	
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	2	内容が偏らないようにしている。定期的に訓練している	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	2	てんかんや薬の服用がある利用者さんは、どうなるのか、その場合どう動くのがよいのかなど保護者の方に確認し、対応マニュアルを作成している。情報共有に努めている。打ち合わせで話す	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	2	マニュアルを作成している保護者からの情報による対応をしている。現在アレルギーの利用者はいない	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	1	安全計画の内容が分からない。わかりません	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	0	事前に情報共有できるようにしている。、わかりません	
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	1	振り返りの中やその場でスタッフが気が時はしっかり他のスタッフに声をかけるようにしている。振り返りでどう対応すべきかも話し合っている。研修を行い参加している。打ち合わせで話す計画書に記載し、署名をいただいている。身体拘束についての話はあったが計画記載についてはわからない。打ち合わせで話す		